

猪瀬直樹氏が盗作嫌疑をかけた問題についての声明

2013年3月28日

村川康敏

猪瀬直樹氏が2012年10月22日1時37分に下記のツイートをした事は誠に遺憾であり、指摘したドラマ名と脚本家名を明らかにするべきである。

猪瀬直樹/inosenaoki

@inosenaoki

『ラストニュース』(弘兼憲史画、猪瀬直樹作)は報道のありかたを描いた作品だがアホ脚本家が日テレで換骨奪胎し安っぽい報道ドラマにした。原作にヒントを得たと言いつつ独自作品と自慢していた。佐野真一ハシシタ問題が現れたので盗作に触れた。日本の知財意識は中国を笑えないレベルなのだ。

引用：<https://twitter.com/inosenaoki/status/260057278303064066>

2000年10月から日本テレビ系列で放映された『ストレートニュース』が、その作品に該当するのではないかと話題になり、脚本を担当した伴一彦氏がツイッター上で再三に渡り回答を求めてきたが、今日まで猪瀬氏からの応答は一切ない。

作品名も脚本家名も明かされないまま、立場ある人物が公に向けて盗作嫌疑をかけることは、他の脚本家にとっても非常に大きな問題であり、このような事態が横行することを危惧している。

猪瀬氏の速やかな回答と徹底した事態究明を求める。

更に、3月28日に伴一彦氏が名誉毀損で訴訟を起こしたことについて、全面的に支持する。

[以上]